

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 23 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25285087

研究課題名(和文) グローバル化を巡る市場と政府・政策のパラドックス：整合性、補完性、代替性の分析

研究課題名(英文) Market-government paradox under globalization: Analyzing consistency, complementarity, and substitutability

研究代表者

藤井 英次 (FUJII, Eiji)

関西学院大学・経済学部・教授

研究者番号：20321961

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,300,000円

研究成果の概要(和文)：「市場と政府・政策の関係」という経済学の根本的課題をグローバル化の文脈から再考し、従来軽視されがちであった両者の補完性や逆説的関係を含む有機的側面に着目するという独自の視点を据えた研究を行った。また、グローバル化の営みの多元性に鑑み、分析対象課題は貿易、金融、環境、資源の領域に跨る。

主な成果として、「市場開放・経済統合度、政府の規模と経済成長の安定性の関係性」、「先進諸国で推進される廃棄物処理政策の問題点」、「貿易自由化とその他の経済政策のポリシーミックス」等について、それぞれ広く知られた見解とは異なる重要な知見を供する分析結果を得た。その詳細について複数の査読付き学術論文・図書で公表した。

研究成果の概要(英文)： We reconsider one of the fundamental themes of economics - the relationship between markets and governments - from the perspective of the ongoing process of globalization. In doing so, we set the focus of our analyses on the complementarity and paradoxical relationship between markets and governments. Also, due to the nature of the current globalization, our analyses cover multiple fields including trade, finance, environment, and resource economics.

The chief findings of our research offer some implications that cast doubt about the conventional views on the issues regarding 1) trade openness, government size and output volatility under economic integration; 2) contracting-out of household waste collection services in developed nations; 3) trade and FDI liberalization under international oligopoly; 4) The details of these results are published in refereed journals and edited books.

研究分野：国際金融論

キーワード：市場統合 グローバリゼーション 経済厚生

### 1. 研究開始当初の背景

研究代表者は従来財・資本の国際市場統合や為替レートの均衡乖離（ミスアラインメント）に関する分析に取り組んできたが、その過程で実質為替レートの構造モデル推定において 1990 年代以降急速に広がった、説明変数としての政府支出の対 GDP 比の効果とその解釈に疑問を持つようになった。政府支出の増大は需要面において貿易財から非貿易財への支出変更を介して実質増価を促すとされるが、理論的にも実証的にも評価は定まっていない。上述の疑問を持ちながら政府支出の拡大が実質為替レートや貿易に与える影響について分析を重ねるうちに「経済規模に占める政府支出の大きさは経済の開放度と強い正の相関を持つ」、つまり「政府が肥大化している国ほど市場開放度が高い」という一見すると逆説的と思える関係を見出した。この関係についてはすでに一部の国際経済学者がその妥当性を指摘しており、グローバル化において政府やその政策が一般に考えられているものとは違った役割を果たしている可能性を示唆するものと考えられる。

また専門分野の異なる研究分担者と議論を重ねるうちに、グローバル化に関する市場と政府・国際機関による政策のパラドックスは国際貿易、環境・資源等の領域においても様々に現れることが分かってきた。例えば自由貿易推進を目的とした WTO の生産補助金規制ルールが、国内生産者保護のために補助金を使えなくなった各国政府に対して経済的損失がより多大な関税を維持する動機を与え、逆に世界全体の経済厚生を下げってしまう冷却効果や、CO<sub>2</sub> 排出削減を目的とする欧州の代替エネルギー推進政策が原油価格の将来的低下予想をもたらすことで、逆に当面の原油採掘および環境破壊を助長するというグリーン・パラドックスなどがその例として挙げられる。これらは個別に重要な問題であるだけでなく、共に市場と政府・国際機関の政策との関係の有機性を如実に示しており、そこにグローバル化の本質を理解するためのヒントがあると考えられるようになった。このような動機から複数の研究者が各自の専門性を活かしつつ、領域の垣根を越えた体系的議論、考察と検証を行うことでこれまで見過ごされがちであった市場と政府・国際機関の政策との有機的な繋がりに注目し、グローバル化の本質を捉えるための新たな視点を目指した研究を計画するに至った。

### 2. 研究の目的

グローバル化において貿易、金融、資源、環境などの領域で起こる重要課題を取り上げ、政府や国際機関が提唱する政策が経済学的に整合性を持つのかについて、経済厚生や効率性の観点から分析する。その際、上述の

ような市場と政策の間に生じるパラドックスに注目し、分野を横断した体系的な成果を積み上げることでグローバル化を巡る議論においてこれまで軽視されてきた市場と政府・国際機関の政策との有機的関係を明らかにし、グローバル化の本質についての新たな知見や政策的示唆を提供する。

### 3. 研究の方法

「市場と政府・政策の関係」という経済学の根本的課題をグローバル化の文脈から再考するに当たり、これまで軽視されてきた両者の間の補完性や逆説的關係を含む有機的側面に着目するという独自の視点を据えて研究に取り組んだ。特にグローバル化の営みが多元的であることに鑑み、貿易、金融、環境、資源と専門領域の異なる国際経済学者が各自の専門性を活用しつつ、共通の視点・テーマの下に分析や検証に取り組み、理論分析とデータを駆使した実証分析の両方からのアプローチで総合的な研究成果を目指した。

### 4. 研究成果

(1) 「市場開放・経済統合度、政府の規模と経済成長の安定性の関係性について」

上述のように先行研究では政府規模と市場開放度が正の相関を有するというパラドックスが示された。市場開放は外的ショックへの脆弱性を増幅させることから、居住者の所得ショックに対して安全な政府部門が保険提供を行うことが正の相関を生み出すと言われてきた。しかし市場開放が一層進み、経済間の統合が深化すれば、各経済の居住者には統合された資本・金融市場という市場による保険と、統合された財政政策という政府ベースの保険の両方が同時に選択肢となる。このような条件下では、先行研究とは逆に、政府規模と市場開放度は負の相関関係を有し、政府の規模は経済（生産量）成長率の安定化効果も持たないという実証分析結果を得た。この結果が示唆するのは、従来一般に知られてきた市場と政府の関係は市場統合の過渡期に特有のものに過ぎず、必ずしも頑健性を有するものではないということである。

(2) 「特許制度、貿易と産業の発展について」

特許制度が企業行動や産業発展に与える影響、および望ましい特許制度について、経済学において活発に議論されてきた。また、現実には過去数十年にわたって、先進国であるか途上国であるかに関わらず特許制度の国際調和が進められてきた。グローバル化が進行する中で、過去の研究の蓄積を発展させる理論分析、過去のデータを用いた特許制度の検証が必要であり、理論、実証の両面から研究を進めた。

理論分析では、国際調和が難しい特許の幅に焦点を当てて分析を行った。両国が対称な

場合、非協調解は協調解に比べて特許の幅が狭くなる一方、両国が非対称で一方の国が差別化製品の開発・生産に比較優位を持つ場合、もう一方の国の特許の幅は世界厚生を最大にするそれよりも広くなる可能性があることが明らかとなった。

実証分析では、1950年代の日本の農薬開発と技術導入のデータを用いて、貿易や直接投資が制限されている状況においても、ライセンスによる外国からの技術導入が連関効果を通じて産業を発展させることを明らかにした。グローバル化が進む中での途上国の特許制度のあり方に示唆を与えるものである。

(3)「先進諸国で推進される廃棄物処理政策の問題点について」

多くの先進諸国において、拡大生産者責任の考えに基づき、容器包装などの一般廃棄物のリサイクルを促進する法制度が近年整備されてきた。また、回収、分別などに携わる民間業者間の競争を通じて処理業務の効率性を確保すべく競争入札による業者の選定が多く自治体において広く行われるようになった。このような廃棄物市場における政策的变化は結果的に何をもたらすのであろうか、という問題につき主に理論モデル分析の観点から考察した。

それによって明らかになったのは、まさに「パラドックス」というべき政策の予期せぬ影響の問題である。たとえば、リサイクルを促進するための資源ごみの回収に対する補助金制度は、モニタリングに費用がかかる現実的な状況では、しばしば業者による資源ごみの不法投棄を導き環境被害をかえって拡大させる可能性がある。しかし、それを未然に防ぐためのポリシー・ミックスを実現するには企業の持つ私的情報が不可欠であり、結果的に適切な政策の実効を困難なものとする。また、競争入札の導入によるごみ回収業務の効率化についても、日本の現状を考えると大きな費用削減効果の実現は難しく、逆に比較的小規模の自治体においては、完全民営化に近づいた際に生じるホールド・アップ問題により委託処理費用が上昇する可能性を現実のデータと照らし合わせて指摘した。

(4)「貿易自由化とその他の経済政策のポリシーミックスについて」

不完全競争環境下においては貿易自由化は必ずしも経済厚生を上昇させるとは限らないことが先行研究で知られていた。そこで貿易自由化単独ではなくその他の政策との同時実施によって経済厚生を改善させることはできないかを分析した。その結果次のような先行研究にはない結果を得た。第1に規模の経済が強く働く場合には貿易自由化と消費税の調整が経済厚生を改善させる、第2に規模の経済がなくとも財の世界価格を一定にするという形での貿易自由化と国内税

の調整は経済厚生を改善させる。第3に貿易自由化と直接投資自由化は経済厚生を改善させる。これらの結果は貿易自由化という市場を活用した経済の発展を促すには、適切な政府の政策が必要であるという意味で両者の補完性を示唆するものである。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 12 件)

Fujii, Eiji. 2017. "Government Size, Trade Openness, and Output Volatility: A Case of Fully Integrated Economies", *Open Economies Review*, forthcoming. 査読有  
DOI: 10.1007/s11079-017-9433-4

Matsueda, Norimichi and Jun'ichi Miki. 2017. "Contracting-out of Household Waste Collection Services in Japan", *The Singapore Economic Review*, forthcoming. 査読有  
<http://www.worldscientific.com/worldscinet/ser>

東田啓作, 2017, 「製品差別化、貿易、および特許の保護範囲に関する理論的考察」経済学論究第71巻1号掲載確定、査読無

Farvaque, Etienne and Norimichi Matsueda. 2017. "Optimal Term Length for an Overconfident Central Banker", *The Singapore Economic Review*, 62, 179-192. 査読有  
DOI: 10.1142/S0217590816500107

Fujiwara, Kenji. 2017. "Trade and FDI Liberalization in a General Oligopolistic Equilibrium," *Japan and the World Economy*, Vol. 41, pp. 45-49. 査読有  
DOI: 10.1016/j.japwor.2016.12.003

Fujiwara, Kenji. 2016. "Tax Principles and Tariff-Tax Reforms under International Oligopoly," *Journal of Public Economic Theory*, Vol. 18, Issue 1, pp. 84-98. 査読有  
DOI: 10.1111/jpet.12140

Fujii, Eiji. 2015. "Reconsidering the Price-Income Relationship across Countries", *Pacific Economic Review*, v. 20, n. 5, pp. 733-760. 査読有  
DOI: 10.1111/1468-0106.12136

Cheung, Yin-Wong and Eiji Fujii. 2014. "The Penn Effect within a Country: Evidence from Japan", *Oxford Economic*

*Papers*, v. 66, pp. 1070-1089. 査読有  
DOI : 10.1093/oep/gpu021

Cheung, Yin-Wong and Eiji Fujii. 2014. "Exchange Rate Misalignment Estimates - Sources of Differences", *International Journal of Finance & Economics*, v. 19, pp. 91-121. 査読有  
DOI : 10.1002/ijfe.1474

Fujiwara, Kenji. 2014. "Pareto-Improving Tariff-Tax Reforms under Imperfect Competition," *International Review of Economics and Finance*, Vol. 31, pp. 12-20. 査読有  
DOI: 10.1016/j.iref.2013.11.006

Fujiwara, Kenji and Ryoma Kitamura. 2014. "A Trade and Domestic Tax Reform in Imperfectly Competitive Markets," *Journal of International Trade and Economic Development*, Vol. 23, Issue 6, pp. 785-795. 査読有  
DOI: 10.1080/09638199.2013.804583

Fujiwara, Kenji. 2013. "A Win-Win-Win Tariff-Tax Reform under Imperfect Competition," *Review of International Economics*, Vol. 21, Issue 5, pp. 857-867. 査読有  
DOI: 10.1111/roie.12075

[学会発表](計 20 件)

Higashida, Keisaku. "Introduction of Foreign Technology, Importation of Products, and Forward/Backward Linkage", 83rd International Atlantic Economic Conference, March 25, 2017, Kempinski Bristol Hotel, Berlin, Germany

東田啓作. "Inventing Around, Trade in Similar Products, and Optimal Patent Breadths", 国際経済学会第 75 回全国大会 2016 年 10 月 30 日、中京大学名古屋キャンパス、愛知県名古屋市

Fujii, Eiji. "External debt of low and middle income countries: What do the trends in denominating currencies tell us?", 10th MIFN International Workshop & 6th New Financial Reality Seminar: The Many Faces of Risk, October 27, 2016, University of Kent, United Kingdom

Matsueda, Norimichi. "The Curse of Low-valued Recycling", the 26th Canadian Resource and Environmental Economics Study Group Annual Conference, October 1, 2016, Banff, Canada

Matsueda, Norimichi. "The Curse of Low-valued Recycling", Economics Workshop at the University of Lille 1, September 6, 2016, Ville-neuve d'Ascq, France

Fujiwara, Kenji. "Trade and FDI Liberalization in a General Oligopolistic Equilibrium", 2016 Taipei International Conference on Growth, Trade and Dynamics, 中央研究院(台湾) 2016 年 6 月 24 日.

Matsueda, Norimichi. "The Curse of Low-valued Recycling", the 15th Journées Louis-André Gérard-Varet (International Conference in Public Economics) June 13, 2016, Aix-en-Provence, France

東田啓作. "Inventing Around, Trade in Similar Products, and Patent Breadths", 国際経済学会関西支部、2016 年 1 月 30 日、関西学院大学大阪梅田キャンパス、大阪府大阪市

Fujii, Eiji. "External debt and international trade: Another mismatch" The 9th Workshop of the Methods in International Finance Workshop "Globalization: Markets and Governments", October 29, 2015, Kwansai Gakuin University, Osaka, Japan

Matsueda, Norimichi. "The Curse of Low-valued Recycling", Economics Workshop at Paris West University, September 14, 2015, Paris, France

Fujii, Eiji. "External debt and international trade: Another mismatch" CESifo Venice Summer Institute, Workshop on International Currency Exposure, July 20, 2015, San Servolo, Venice, Italy

Fujiwara, Kenji. "Trade and FDI Liberalization in an Oligopolistic Model: Partial versus General Equilibrium Effects", IEFS Japan Annual Meeting, 京都大学、京都府京都市、2015 年 5 月 21 日.

Fujii, Eiji. "Government size, trade openness, and output volatility - A case of fully integrated economies", International Workshop of Methods in International Finance Network, December 5, 2014, IESEG-School of Management, Paris, France

Matsueda, Norimichi. "The Curse of Low-valued Recycling", Microeconomic Workshop at Victoria University of

Wellington, October 31, 2014, Wellington  
New Zealand

Higashida, Keisaku. "Costly imitation,  
trade in imitated products, and optimal  
patent breadth", Society for the Study of  
Emerging Markets Euro Conference 2014,  
July 7, 2014, Budapest University of  
Technology and Economics, Budapest,  
Hungary

Fujiwara, Kenji. "Coordinating Trade  
Liberalization and a Labor Market Reform",  
IEFS Japan Annual Meeting, 神戸大学、兵  
庫県神戸市、2013年12月3日.

Matsueda, Norimichi. "Contracting  
-out of Household Waste Collection  
Services in Japan", Microeconomic  
Workshop at Victoria University of  
Wellington, November 1, 2013, Wellington  
New Zealand

Fujii, Eiji. "Reconsidering the  
price-income relationship across  
countries", 7th International Workshop  
of Methods in International Finance  
Network, September 25, 2013, Namur,  
Belgium

Matsueda, Norimichi. "Optimal term  
length for an overconfident central  
banker", the 5th Singapore Economic  
Review Conference, August 4, 2013,  
Singapore

Matsueda, Norimichi. "Optimal term  
length for an overconfident central  
banker," Canadian Economic Association  
Meeting, June 1, 2013, Montreal, Canada,

〔図書〕(計 2 件)

Fujii, Eiji. "External Debt and  
International Trade: Another Mismatch" in  
Frank Westermann and Yin-Wong Cheung  
(eds.), *International Currency Exposure*,  
MIT Press, forthcoming.

Fujii, Eiji. "The Penn Effect:  
Decoupling and Re-coupling in the  
Price-Income Relationship?" in Frank  
Westermann and Y.-W.-. Cheung (eds.),  
*Global Interdependence, Decoupling, and  
Re-coupling*, MIT Press, pp. 263-291,  
November 2013.

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織  
(1)研究代表者  
藤井 英次 (FUJII, Eiji)  
関西学院大学・経済学部・教授  
研究者番号： 20321961

(2)研究分担者  
東田 啓作 (HIGASHIDA, Keisaku)  
関西学院大学・経済学部・教授  
研究者番号： 10302308

(3) 研究分担者  
松枝 法道 (MATSUEDA, Norimichi)  
関西学院大学・経済学部・教授  
研究者番号： 40330394

(4) 研究分担者  
藤原 憲二 (FUJIWARA, Kenji)  
関西学院大学・経済学部・教授  
研究者番号： 50434882

(5)研究協力者  
Cheung, Yin-Wong  
Professor, Department of Economics and  
Finance, City University of Hong Kong

Long, Ngo Van  
Professor, Department of Economics  
McGill University